

令和4年度 学生の学修状況に関する調査報告について

【目的】

- ・本調査の目的は、学生に対する支援と指導のため、日常の学生の学修状況についての基礎的な資料を得ることである。

【方法】

1. 調査対象

- ・体育学部に所属する全学生を対象として調査を実施した。

2. 調査内容

- ・「学生の学修状況に関する調査」というアンケートを Google フォームにて作成し、調査に使用した。

- ・質問内容は以下の通りである。:

- ①基礎的情報： 性別、学年、学科
- ②授業時間以外での自主的な学習時間(1日あたりの平均)
- ③授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間(1日あたりの平均)
- ④大学での学習で最も力を入れていること
- ⑤高校3年時での授業時間以外での自主的な学習時間(1日あたりの平均)
- ⑥高校3年時での授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間(1日あたりの平均)
- ⑦卒業後の進路として最も希望していること

3. 調査の手続き

- ・調査期間は令和4年6月8日(水)～6月22日(水)である。
- ・1年生は各クラスの、2年生以上は学科又はコースのオリエンテーションで使用した Google クラスルーム内で、「課題」として Google フォームの URL を配布、期日までの回答を依頼した。

4. 統計解析

- ・得られた結果は各学年に占める割合(%)で示した。
- ・各学年、学科および性別と質問項目をクロス集計し、 χ^2 検定を行った。統計的有意確率は5%未満とした。

【結果】

1. 回答率について

- ・学科学年別の回答者数と回答率を表 1 と表 2 に示した。全体での回答率は 91.6%となった。
- ・なお、4 年生には休学・留年者を含んでいる。

表 1 学科学年別回答者数（人）

学科	1 年	2 年	3 年	4 年	全体
体育	345	355	288	306	1,294
健福	100	63	102	94	359
栄養	65	73	68	72	278
ス情	56	31	37	40	164
現武	48	37	43	43	171
子教	28	27	24	34	113
全体	642	586	562	589	2,379

表 2 学科学年別回答率（休学者を含む）

学科	1 年	2 年	3 年	4 年	全体
体育	99.1%	94.7%	85.7%	86.9%	91.7%
健福	98.0%	87.5%	94.4%	91.3%	93.2%
栄養	100.0%	97.3%	89.5%	84.7%	92.4%
ス情	100.0%	91.2%	80.4%	97.6%	92.7%
現武	100.0%	90.2%	84.3%	84.3%	89.5%
子教	100.0%	93.1%	66.7%	85.0%	85.0%
全体	99.2%	93.6%	86.1%	87.6%	91.6%

2. 大学での学習時間と運動時間について

- ・学年別の自主的な学習時間（授業の予習と復習、資格取得や就職のための勉強など）についての結果を図1に示した。30分未満の自主的学習時間と答えた学生の割合は1年生が3、4年生と比べて有意に多く、学年進行に応じて自主学習時間が増加した。一方、3時間以上と回答した学生の割合は4年生が他の学年よりも有意に多かった。

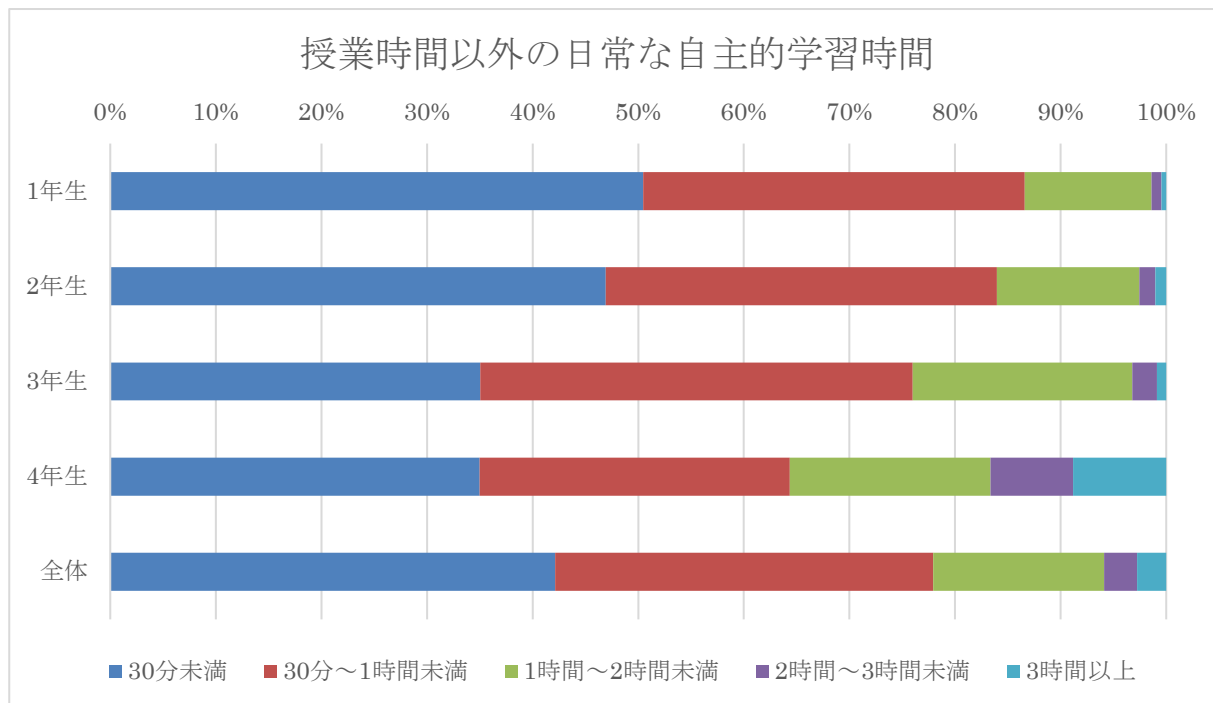


図 1 一日の自主学習時間(学年別)

- ・学科別の自主的な学習時間についての結果を図2に示した。30分未満の自主的な学習をしている学生の割合は体育に比べて健福学科で有意に少なかった。30分以上の自主的な学習をしている学生の割合は学科間で差はみられなかった。

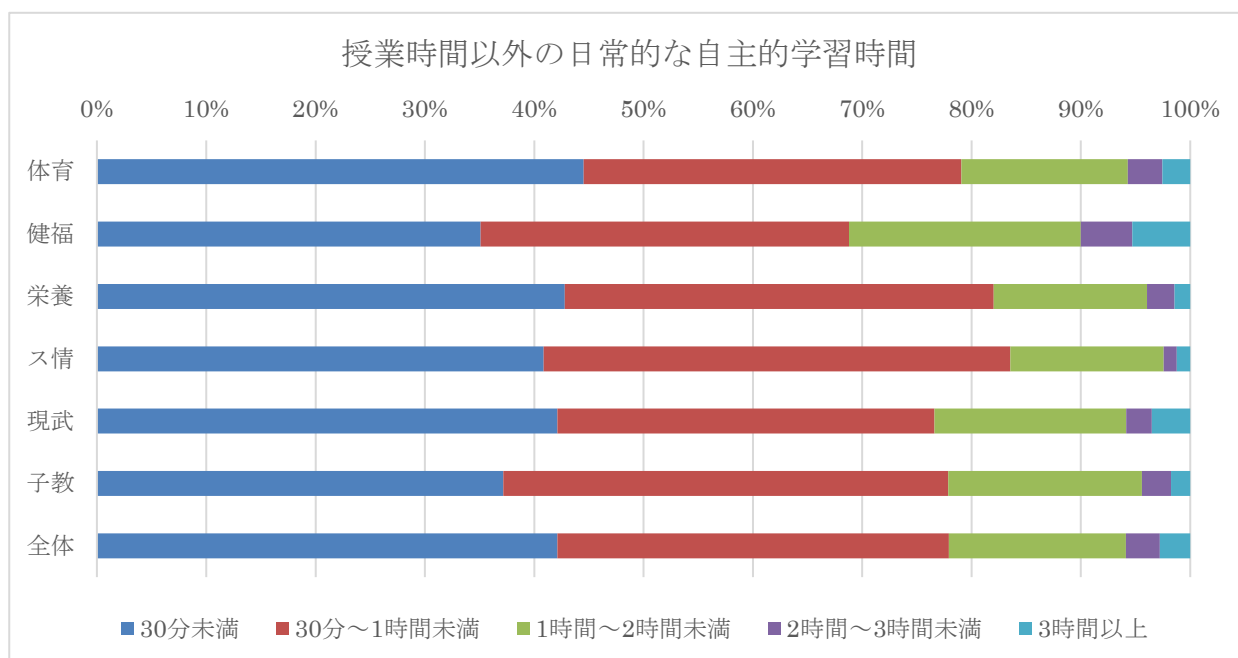


図 2.一日の自主学習時間 (学科別)

・学年別の運動時間についての結果を図3に示した。30分未満と回答した学生の割合は1,2年生に比べて3,4年生で有意に多かった。2-3時間と回答した学生の割合は1年生に比べて2,4年生で有意に少なかった。3時間以上と回答した学生の割合は1年生に比べて3,4年生で有意に少なかった。

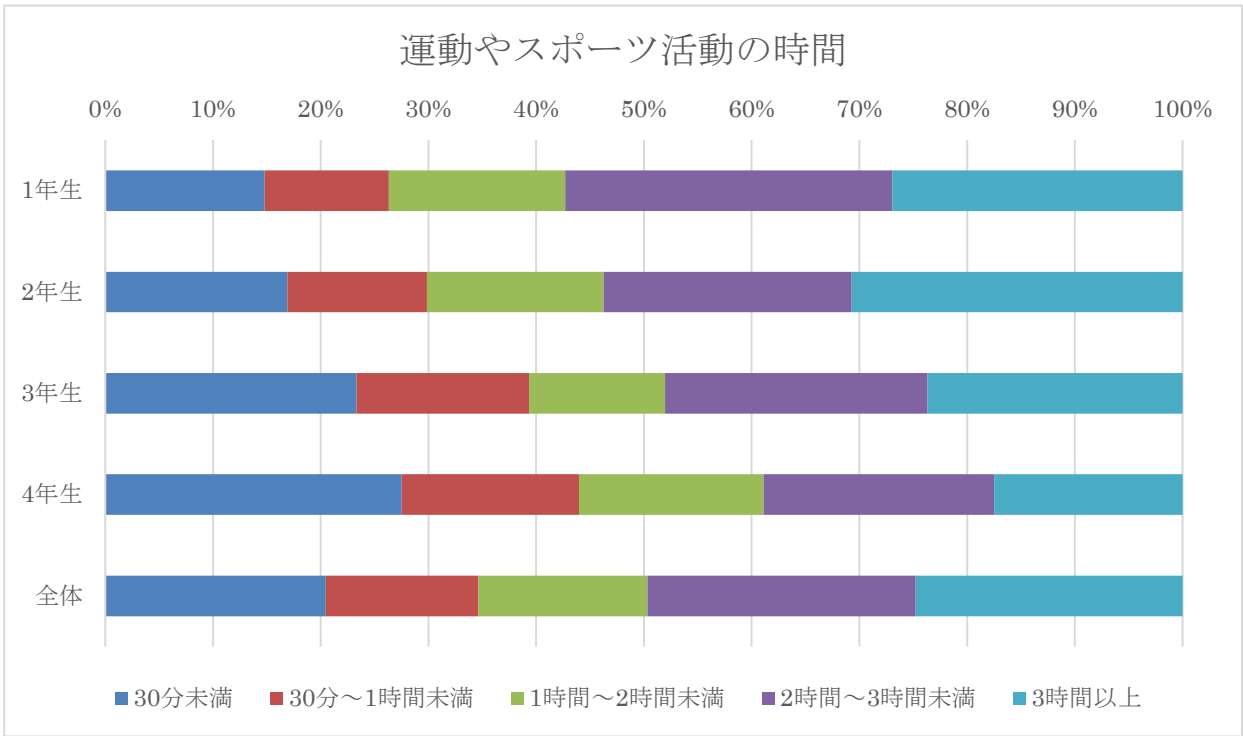


図 3 一日の運動やスポーツ活動時間(学年別)

・学科別の運動時間についての結果を図4に示した。30分未満と回答した学生の割合は健福、栄養、および子教学科において他の学科に比べて有意に多く、3時間以上と回答した学生の割合は健福、栄養、および子教学科において他の学科に比べて有意に少なかった。

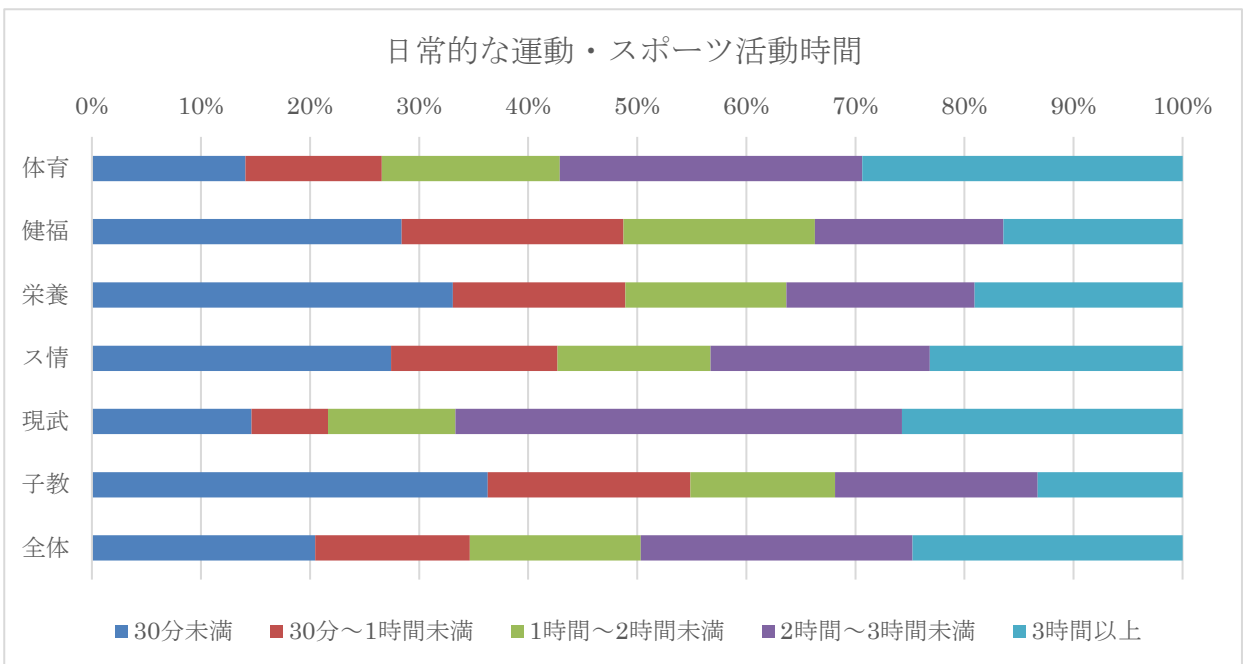


図 4 一日の運動やスポーツ活動時間 (学科別)

・大学での学習の目標についての学年別における結果を図5に示した。「資格や免許の取得にこだわらず、専攻する領域の専門的な知識や技術を身につける」と回答した学生の割合は1年生と比べて3年生が有意に多かった。「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」と回答した学生の割合は1年生に比べて上級生において有意に少なく、4年生が最も少なかった。「幅広い教養を身につける」と回答した学生の割合は1年生が上級生に比べて有意に少なく、4年生で最も多くなった。

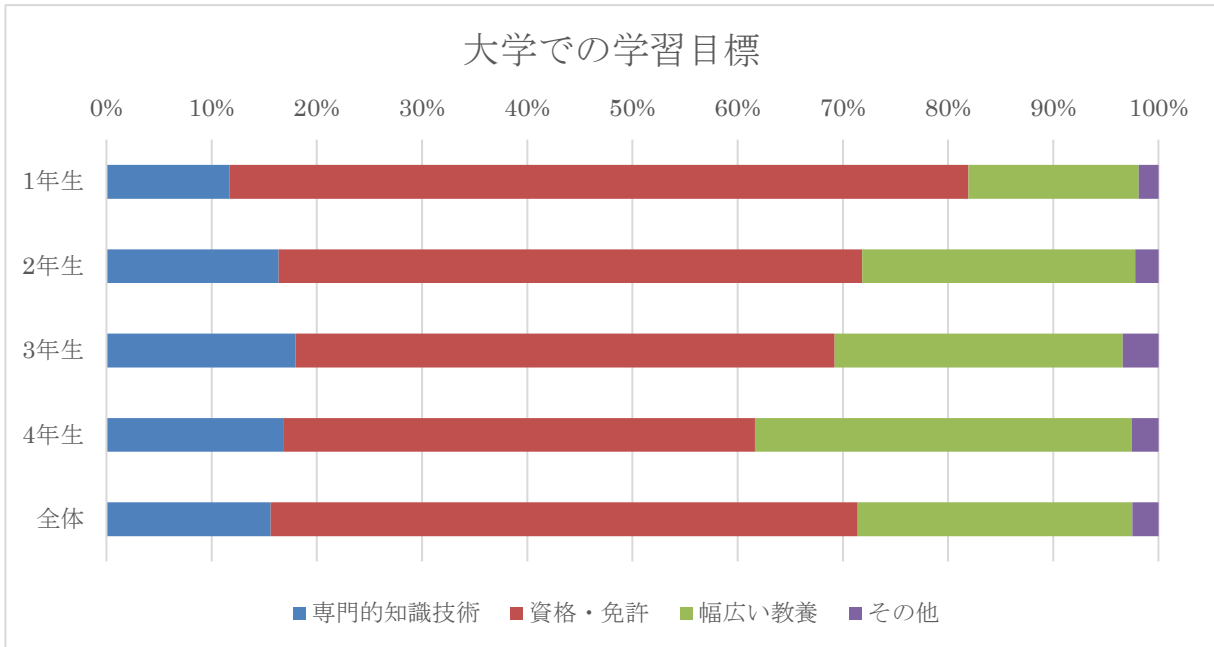


図 5.大学での学習目標 (学年別)

・大学での学習の目標についての学科別における結果を図6に示した。ス情学科は「資格や免許の取得にこだわらず、専攻する領域の専門的な知識や技術を身につけること」と回答した学生の割合が体育、健福、栄養および子教学科よりも有意に多かった。「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」と回答した学生の割合と回答した学生の割合が健福および子教学科が他の学科に比べて有意に多かった。「その他」として部活動を挙げた学生が一定数いた。

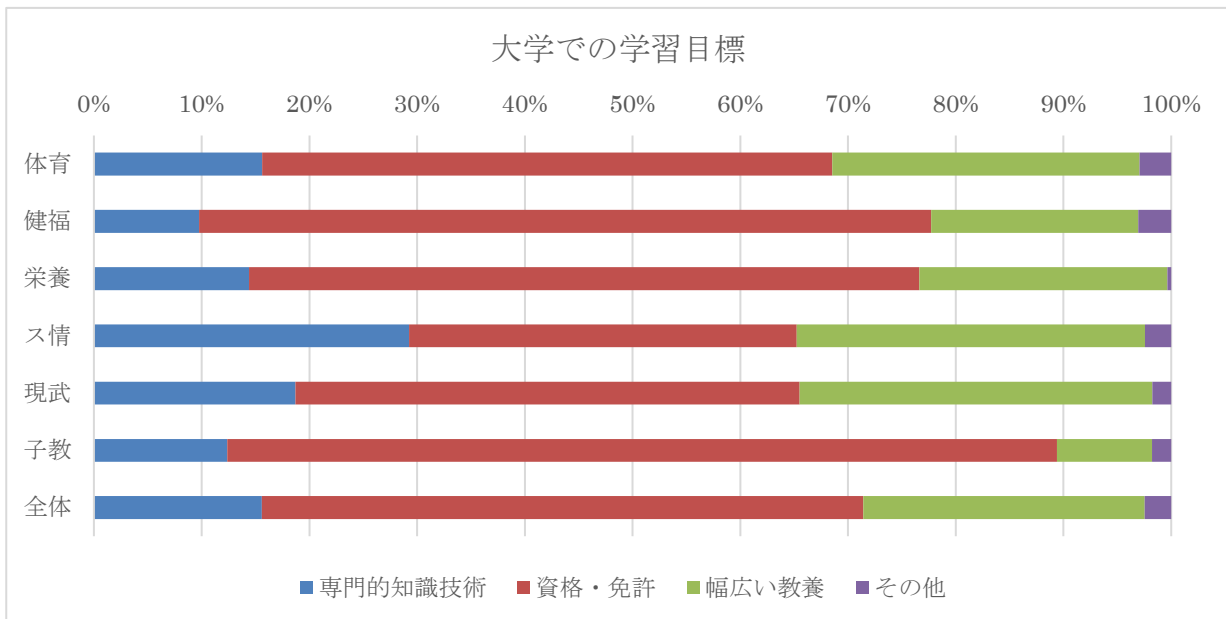


図 6.大学での学習目標（学科別）

3. 高校三年時の学習時間と運動時間について

・学年別の高校三年生の時の自主学習時間についての結果を図7に示した。学年による差はみられなかった。1,2年生は高校生活でコロナ禍を経験しているが、その影響はみられなかった。

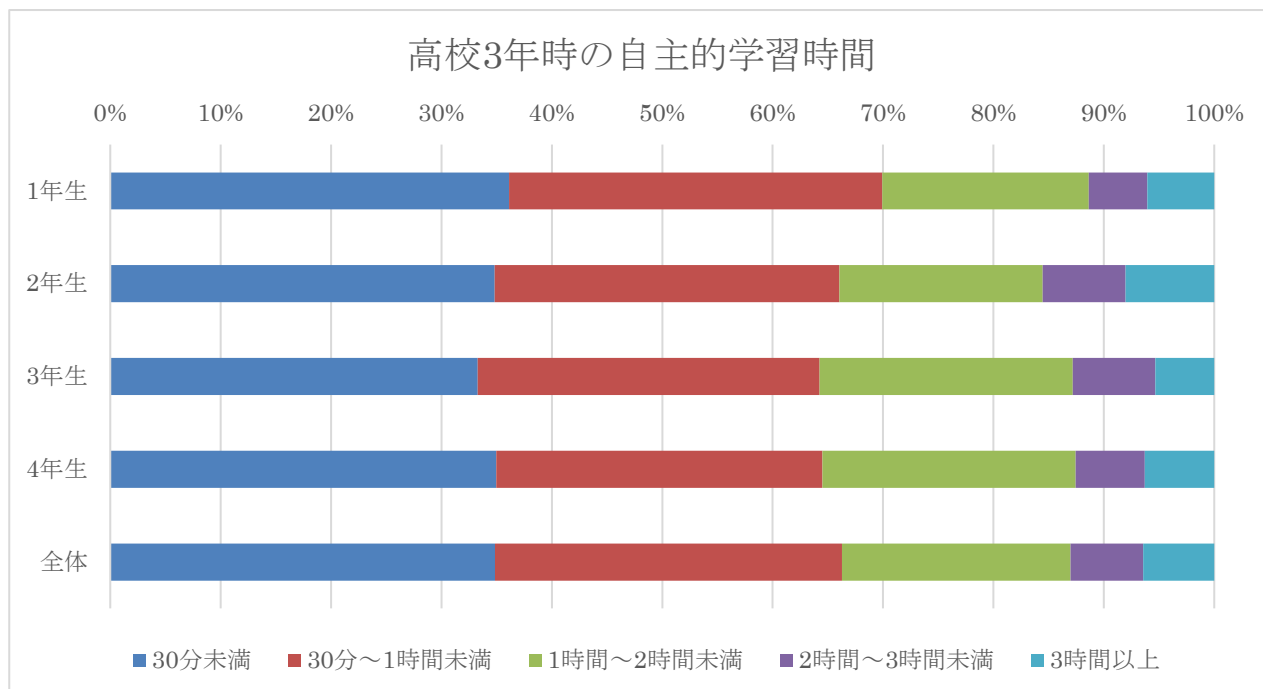


図 7 高校3年生時における一日の自主学習時間（学年別）

・学科別の高校三年生の時の自主学習時間についての結果を図8に示した。学科間による差はみられなかった。

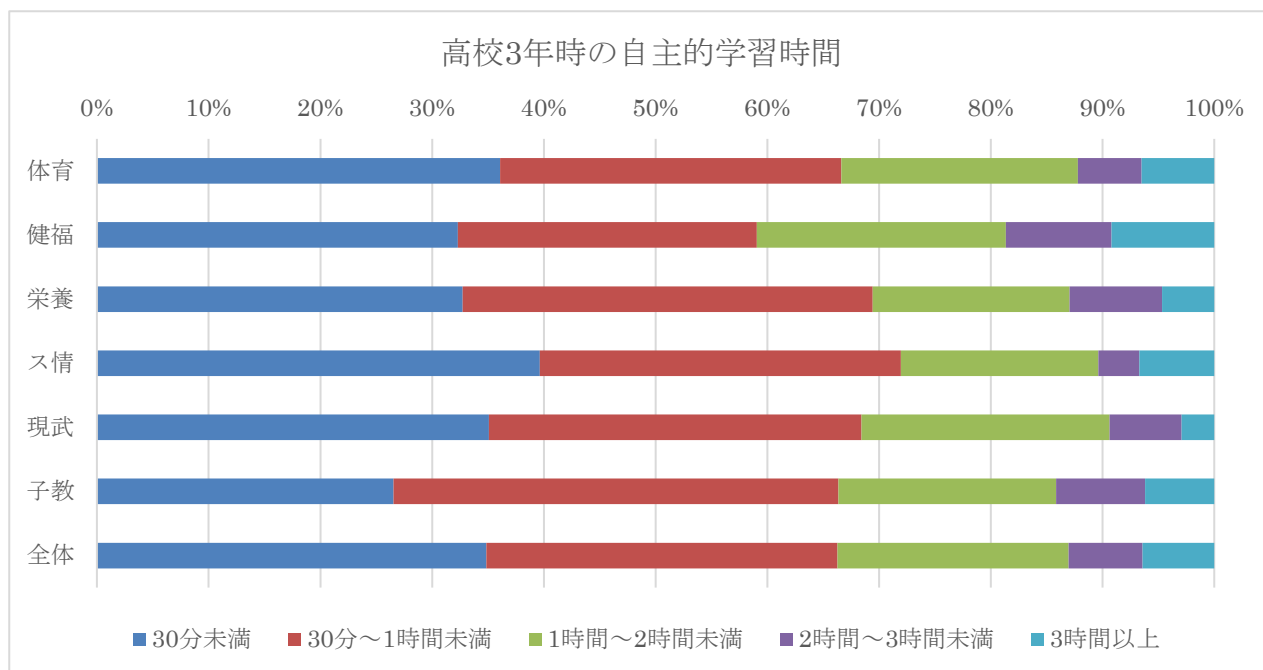


図 8 高校3年生時における一日の自主学習時間（学科別）

・学年別の高校三年生の時の運動・スポーツ活動時間についての結果を図9に示した。2-3時間と回答したものの割合が1年生に比べて2年生で有意に少なかった。

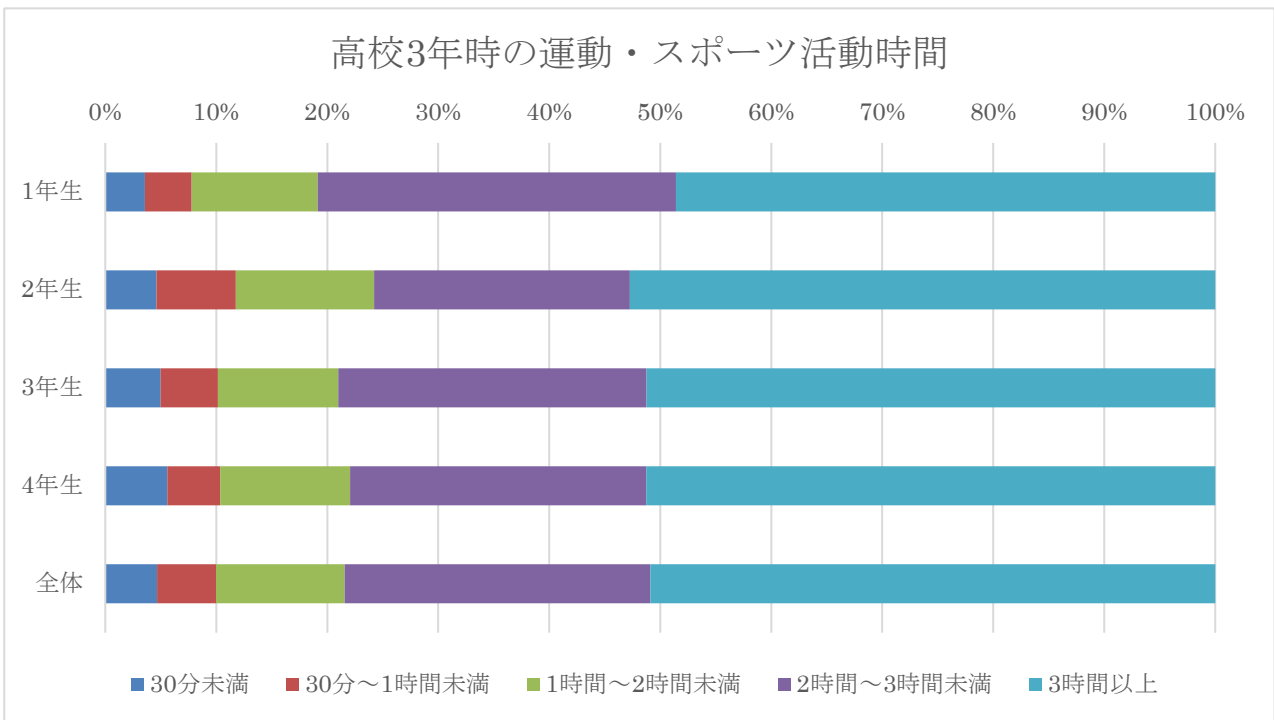


図9 高校3年生時のスポーツ活動時間 (学年別)

・学科別の高校三年生の時の運動・スポーツ活動時間についての結果を図10に示した。1時間以上を行っていたと回答した者の割合は有意な差はみられなかった。一方、1時間未満については学科間でばらつきがみられ、30分未満と回答した者の割合は栄養および子教学科が他の学科に比べて有意に多かった。

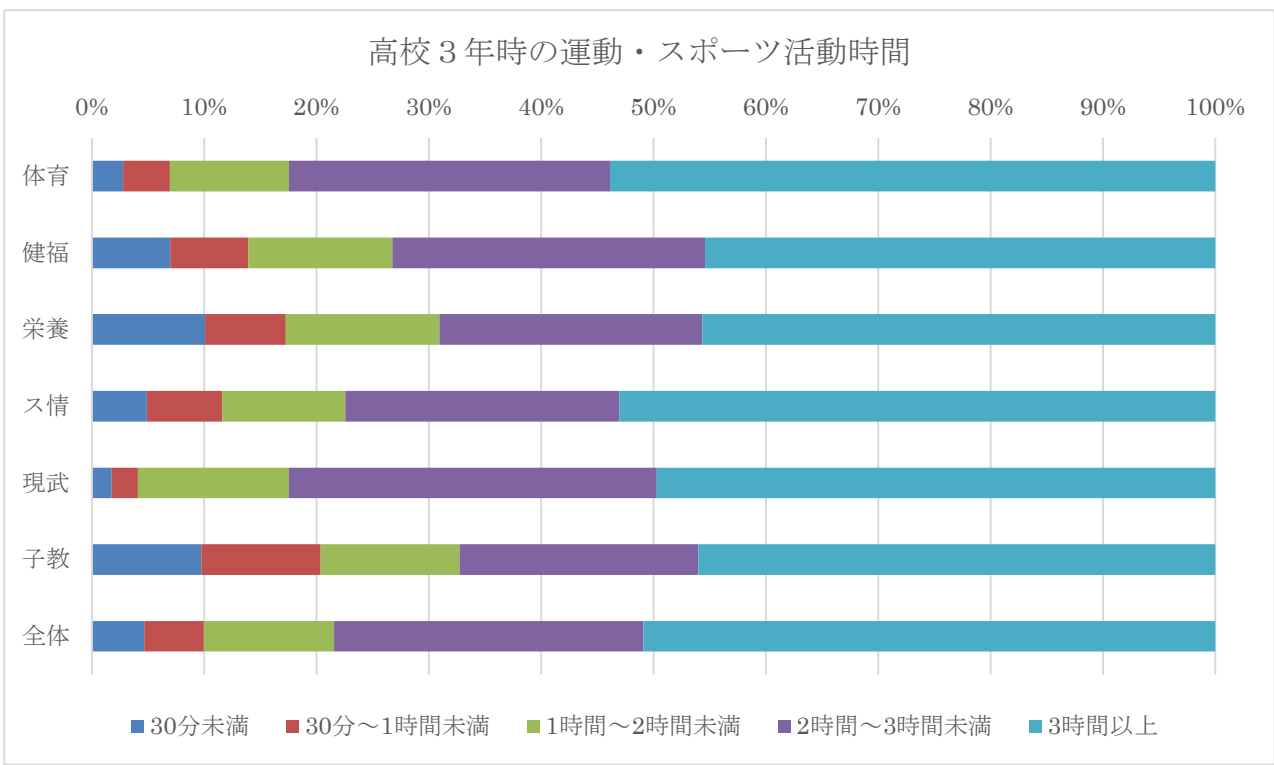


図10 高校3年生時のスポーツ活動時間 (学科別)

4. 卒業後の進路の希望について

・学年別の卒業後の進路の希望についての結果を図11に示した。「スポーツに関わる職業」と回答した者の割合は1年生に比べて2年生以上で有意に低く、2年生は3,に比べて有意に低かった。一方で、「一般企業(大学での専攻領域に特にこだわらない)」と回答した者の割合は学年進行に応じて有意に多かった。「教員あるいは保育士」と回答した者の割合は1,2年生に比べて3,4年生で有意に少なかった。「公務員」や「大学院進学」「福祉・介護」「栄養士」「マスメディア」と回答した者は学年間に有意な差はみられなかった。

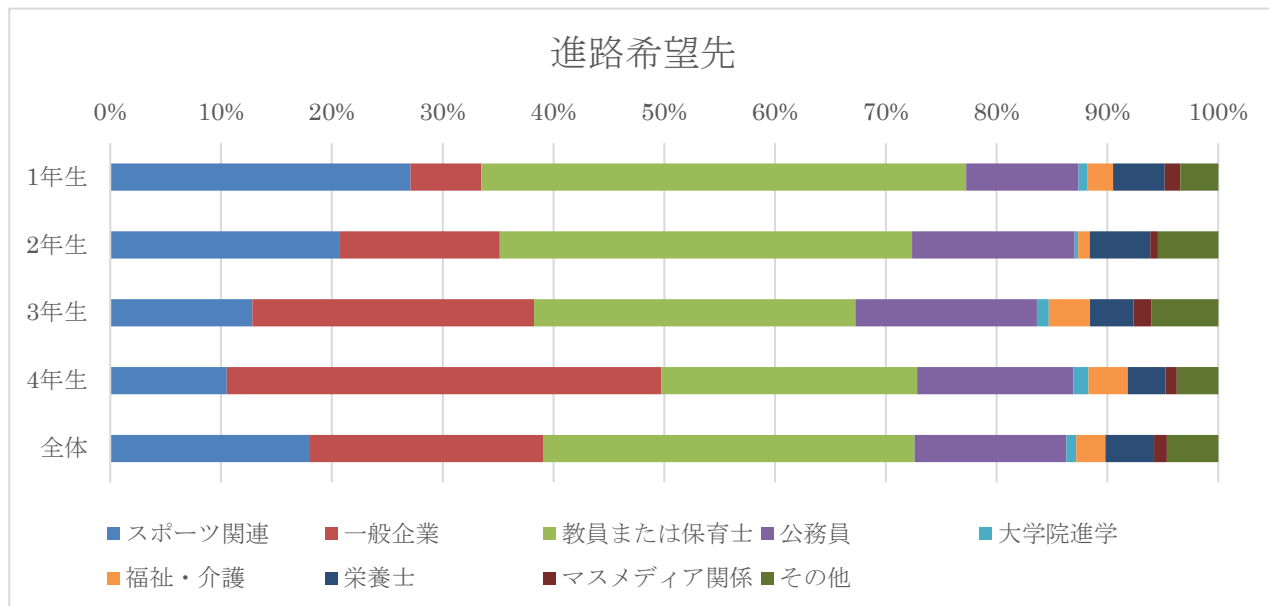


図 11 卒業後の進路希望(学年別)

・学科別の卒業後の進路の希望についての結果を図14に示した。学科により、その学科の特色を反映した結果がみられた。例年と同様の結果であった。

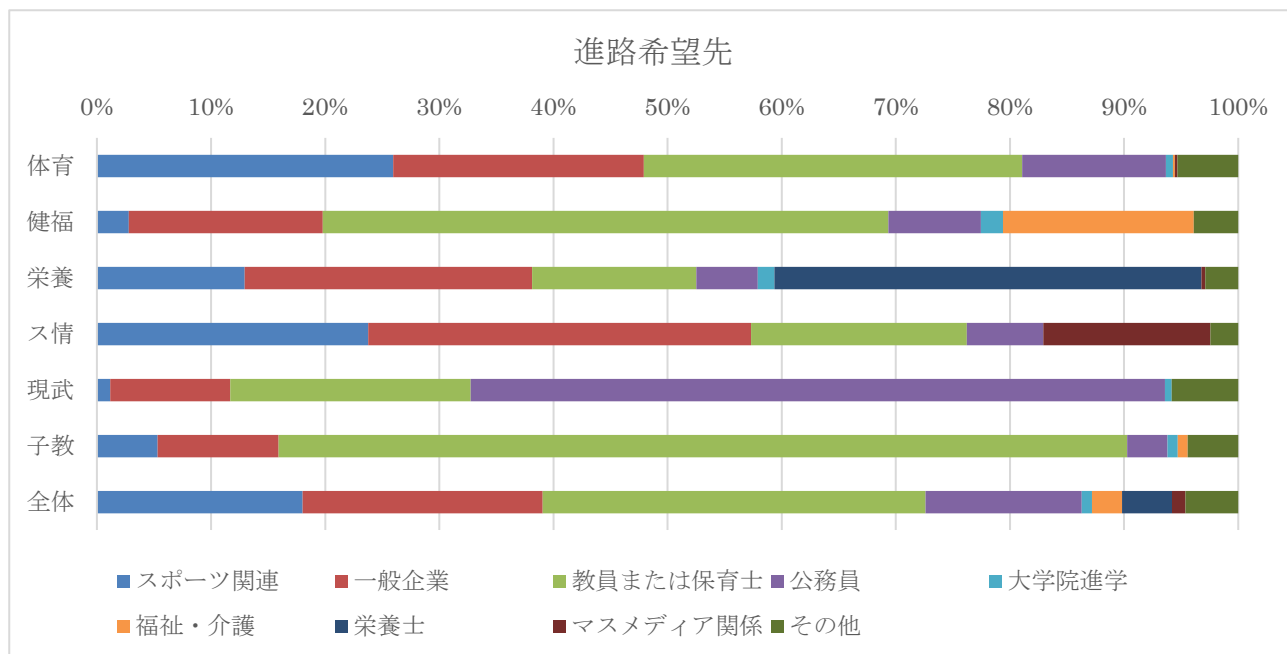


図 12 卒業後の進路希望(学科別)

5. まとめ

- ・回答率が約90%以上であり、本学学生の状況を反映しているものと考えられる。本調査は、横断的な調査であることから、学年別の比較は学年ごとの特性がある可能性を踏まえた上でデータを解釈する必要がある。
- ・全体として学年進行に伴い、学習時間の増加および運動時間の減少がみられた。四年生で学習時間が相対的に長くなっているのは、教員採用試験など就職対策のための学習の必要性と関連があると考えられる。
- ・1～3年生において、1時間未満の運動時間である学生の割合が昨年度に比べ増加した。その一方で、学習時間は昨年度に比べて増加傾向であった。
- ・高校3年時の学習時間については学年および学科間で関連はみられなかった。本学に入学してくる学生の特徴として捉えられると思われる。一方で、高校3年時の運動時間については2年生の「2-3時間」と回答した者の割合が少なく、コロナ初年度(2020年度)による影響である可能性が考えられた。また、学科間でも1時間未満の運動時間を回答する者の割合で差がみられた。これは、学科学生の基本特性を反映していると考えられる。
- ・1年次には資格や免許の取得を目標とする学生が60%弱と最も多いが、この割合は学年の進行とともに低くなる。それに対して「教養を身につける」ことを重視する学生が増加している。これは昨年度および一昨年度と変わらず、本学学生の特徴としてとらえても良いと思われる。
- ・進路の希望として1年次では教員希望が最も多いが、学年が進むにつれてその割合は減少する。それに対して一般企業を目指す学生が増加している。一方、「公務員」や「大学院進学」「学科特有の進路」を目指す学生はいずれの学年においてもある程度の割合が見られた。これも昨年度と変わらず、本学学生の特徴としてとらえても良いと思われる。

以上